

# 県教委による自治体訪問

## 1 趣旨

各自治体の市町村長及び教育長から地元の県立高校等について意見を伺い、教育体制整備の参考とする。

## 2 訪問自治体

全27市町村

## 3 訪問日、対応者

- ・平成30年5月2日～6月4日
- ・市町村長、市町村教育長等

## 4 自治体訪問での主な御意見

### (1) 地元県立高校へ望むこと

- ・地域愛の醸成による地域に残る人材、地域の産業を支える人材の育成
- ・地域の課題等の解決に取り組む地域学の推進
- ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入
- ・地域の小中学校の取組（強み）を踏まえた高校の魅力づくり
- ・キャリア教育の観点から卒業後の進路を明確にした魅力づくり
- ・大学への進学実績の向上
- ・世界で活躍できる人材の育成
- ・分かりやすい広報

### (2) 地元自治体による県立高校への支援方策

- ・コーディネーター、支援員の配置等人材派遣
- ・公営塾の設置、海外派遣等による学力向上
- ・部活動、入学奨励金の補助
- ・通学手段の確保（バス路線の拡充等）、通学費等の補助
- ・広報誌による県立高校の魅力紹介
- ・地元中学生の地元県立高校への進学率向上

### (3) 平成40年度の県立高校の在り方

- ・地元県立高校の存続、学科や教育内容の維持
- ・再編整備基準は一律ではなく通学利便性への配慮が必要
- ・一定の規模を維持するため再編はやむを得ない場合もある

### (4) 県立高校普通科の学区の在り方

- ・生徒の選択肢確保のため学区を廃止、学区を拡大
- ・都市部への流出、過疎化の加速等が懸念されるため6学区を堅持

# 県教委による商工会議所・商工会訪問

## 1 趣旨

各地域の産業界から地元の県立高校等について意見を伺い、教育体制整備の参考とする。

## 2 訪問商工会議所・商工会

- ・全12商工会議所（岡山、倉敷、津山、玉島、玉野、児島、笠岡、井原、備前、高梁、総社、新見）
- ・商工会連合会
- ・7商工会（瀬戸内市、赤磐、和気、浅口、備中西、真庭、みまさか）

## 3 訪問日、対応者

- ・平成30年6月21日～7月24日
- ・商工会議所専務理事、商工会事務局長等

## 4 商工会議所、商工会からの主な御意見

### (1) 地域の産業構造を踏まえて、地元の県立高校へ望むこと

#### 地域の産業界と県立高校との連携

- ・人手不足が深刻で、高校新卒の採用は難航、4大卒は困難である  
人手不足は、年々拡大しており、おかやま創生を支える人材が必要  
起業者や継業者の育成も求められる
- ・地域経済を支える学科や学習内容の充実、維持  
産学連携、小中高大連携の推進  
場合によっては思い切った特色化も必要
- ・普通科も含めて、高校生が地元企業を知るためのインターンシップ、企業見学や  
企業による出前授業の充実や生徒が地域の良さを知る機会の充実を図る  
教員や保護者についても同様のことが必要
- ・SDGs等、現在の社会や企業の方向性を反映した教育の推進
- ・実践的な英語力や外国人とのコミュニケーション力、国際的な視野などグローバル  
化に対応した教育の推進
- ・AI、IoT、データサイエンス等、情報社会の進展に対応できる人材の育成
- ・普通科においても就職希望者への丁寧な指導が必要
- ・その学校、学科で何を目標しているか、どのような資格につながるのか等について  
の分かりやすい広報

### (2) その他、県立高校へ望むこと等

- ・再編整備を行ったほうが競争原理が働き、教育レベルの維持につながる
- ・高校がなくなると、加速度的に地域が衰退する恐れがある
- ・再編整備基準は一律ではなく通学利便性への配慮が必要
- ・小中でしっかりと地域学を行った上で、高校での地域学の実施
- ・自分がどのような仕事をしたいのかについてしっかり考える機会をつくる
- ・基礎的な学力をしっかり付けるとともに、コミュニケーション能力等の人間力の育成
- ・不登校への対応など、セーフティネットのことは大切  
また、スポーツや体づくりの観点も大切

# 「 高校教育に関する調査 」 結果概要

## I 調査の目的

高等学校教育の現状や高等学校への期待等について、中学校長及び中学校・高等学校の生徒・保護者の意識等を調査し、県立高等学校の教育体制整備を進めるに当たっての参考とする。

## II 調査時期

平成30年5月

## III 調査対象

- ・市町村立中学校全151校 校長
- ・市町村立中学校37校 第2学年のうち1クラスの生徒及び保護者  
(全市町村から1校以上を抽出(岡山市6校、倉敷市5校、津山市2校))
- ・県立全日制高等学校25校 第1学年のうち1クラスの生徒及び保護者  
(地域や学科を勘案して抽出)

対象	在籍者数等	調査人数	抽出率	回答数	回収率
中学校長	151校 151名	151校 151名	100%	151	100%
中学校保護者	151校	37校 1,087名	6.9%	954	87.8%
中学生	15,836名	37校 1,078名	6.8%	1,057	98.1%
高校保護者	49校	25校 975名	8.6%	888	91.1%
高校生	11,396名	25校 975名	8.6%	964	98.9%

※調査人数は、各学校が実際に調査対象者に調査用紙を配付した数

#### IV 結果概要

問1 高校を選ぶ（勧める）ときにどのような点を重視しますか。

（高校・科（コース）を決定するときに重視したものはどれですか。）

（三つ以内で選択）

選択肢	中学校長	中学校保護者	中学生	高校保護者	高校生
歴史と伝統	0.7%	3.0%	4.1%	9.2%	3.3%
学習内容	74.8%	45.7%	43.9%	44.4%	33.9%
学校行事	0.7%	3.9%	18.9%	8.2%	20.0%
進路（進学・就職）実績	79.5%	62.4%	50.1%	64.3%	54.6%
生徒の様子	39.1%	33.2%	16.7%	28.7%	11.1%
部活動	13.9%	18.2%	37.7%	20.0%	24.8%
施設・設備	2.0%	3.6%	11.9%	3.7%	4.3%
教員の指導力	10.6%	18.4%	10.4%	14.4%	3.9%
就学に要する費用	19.2%	30.6%	17.5%	25.5%	4.5%
通学の便・通学の時間	45.7%	59.7%	35.9%	49.5%	24.5%
制服	0.0%	2.1%	14.9%	3.8%	6.3%
校則	0.0%	1.4%	13.2%	0.3%	2.4%
合格の可能性	—	—	—	—	31.5%
友達と一緒に	—	—	—	—	8.3%
中学校の先生の勧め	—	—	—	—	4.5%
塾の勧め	—	—	—	—	3.5%
家族の勧め	—	—	—	—	12.7%
家族が卒業生あるいは在校生	—	—	—	—	10.3%
先輩の勧め	—	—	—	—	2.8%
特になし	—	—	—	—	4.3%
その他	7.9%	3.0%	1.3%	3.7%	1.9%

- ・ いずれも「進路（進学・就職）実績」の回答がもっとも多い。
- ・ 中学校長は「学習内容」（約75%）、保護者は「通学の便・時間」、生徒は「学習内容」、「部活動」の回答が多い。

問2 高校の取組について、情報入手する上で充実してほしいものはどれですか。  
(三つ以内で選択)

選択肢	中学校長	中学校保護者	中学生	高校保護者	高校生
高校の学校案内(パンフレット)	57.6%	43.7%	57.0%	43.9%	63.7%
高校のホームページ	53.6%	41.5%	47.9%	58.6%	61.3%
高校のオープンスクール、授業公開	78.1%	74.0%	65.7%	68.5%	61.6%
高校の地域での説明会	13.2%	13.9%	6.2%	10.4%	5.9%
高校教員の中学校訪問や中学校での出前授業	25.8%	16.8%	14.9%	14.0%	13.2%
高校生の取組の発表会や、高校生による中学校での出前授業	19.9%	16.2%	10.6%	13.9%	7.4%
中学生と高校生との合同の活動や行事	8.6%	13.8%	16.3%	14.1%	13.1%
中学校が開催する複数の高校による説明会	17.9%	32.4%	8.6%	19.5%	8.1%
県全体の高校情報提供サイト	11.3%	14.8%	12.6%	12.3%	6.5%
その他	0.7%	0.6%	0.9%	1.1%	1.1%

・いずれも「高校のオープンスクール、授業公開」、「高校の学校案内（パンフレット）」、「高校のホームページ」の回答が多い。

問3 高校進学に当たって、公立高校と私立高校のどちらを希望しますか。  
(一つ選択) また、それを選んだ理由を書いてください。

選択肢	中学校長	中学校保護者	中学生	高校保護者	高校生
公立高校	—	73.8%	60.4%	—	—
私立高校	—	1.5%	7.0%	—	—
どちらともいえない	—	24.5%	32.2%	—	—
(無回答)	—	0.2%	0.5%	—	—

・中学校保護者の約25%、中学生の約32%が「どちらともいえない」と回答。  
 ・「どちらともいえない」「無回答」を除いた公立私立の希望割合は、中学校保護者が98：2、中学生が90：10。  
 ・「公立高校」選択者は、保護者・生徒計1,342人であり、その理由は、学費の違い、通学の便、進路実績、指導や教育内容のバランスの重視、学校行事や部活動の充実等。  
 ・「私立高校」選択者は、保護者・生徒計88人であり、その理由は、特色ある教育、部活動実績等。

問4 進学したい（勧めたい）学科は次のどれですか。（三つ以内で選択）

選択肢	中学校長	中学校保護者	中学生	高校保護者	高校生
普通科	—	70.8%	70.6%	—	—
農業に関する学科	—	5.7%	6.7%	—	—
工業に関する学科	—	24.7%	21.5%	—	—
商業に関する学科	—	23.6%	15.9%	—	—
家庭に関する学科	—	8.8%	11.1%	—	—
看護に関する学科	—	9.5%	10.7%	—	—
情報に関する学科	—	16.6%	7.0%	—	—
福祉に関する学科	—	10.4%	6.7%	—	—
理数に関する学科	—	8.2%	11.0%	—	—
体育に関する学科	—	7.3%	18.0%	—	—
音楽や美術に関する学科	—	4.6%	11.7%	—	—
外国語や国際関係に関する学科	—	15.2%	8.9%	—	—
総合学科	—	12.2%	9.3%	—	—
その他	—	5.6%	3.7%	—	—

- ・中学校保護者、中学生ともに「普通科」の回答がもっとも多い。（約71%）

問5 高校卒業後の進路について、どのように考えていますか。（一つ選択）

選択肢	中学校長	中学校保護者	中学生	高校保護者	高校生
県内就職	—	15.1%	15.5%	17.8%	17.8%
県外就職	—	1.8%	4.8%	0.8%	2.2%
県内進学	—	25.6%	18.4%	35.9%	29.5%
県外進学	—	8.1%	12.7%	14.5%	21.3%
海外進学	—	0.5%	1.5%	0.5%	0.9%
まだ決めていない	—	47.7%	46.8%	30.1%	28.2%
(複数回答、無回答)	—	1.3%	0.2%	0.5%	0.1%

- ・中学生の約47%、高校生の約28%が「まだ決めていない」と回答。
- ・中学生の約34%、高校生の約51%が「県内進学」「県内就職」のいずれかを回答。

問6 理想的な高校の規模は一学年当たり何学級ですか。(一つ記述)

回答	中学校長	中学校保護者	中学生	高校保護者	高校生
1学級	0.7%	0.5%	0.9%	0.6%	0.6%
2学級	0.7%	4.1%	4.6%	3.8%	3.1%
3学級	6.6%	16.7%	20.5%	8.8%	10.8%
4学級	20.5%	13.4%	20.8%	14.3%	18.4%
5学級	16.6%	26.9%	18.8%	26.0%	20.1%
6学級	29.1%	11.7%	12.4%	16.1%	14.5%
7学級	4.6%	4.3%	7.0%	7.1%	9.1%
8学級	9.9%	5.3%	6.0%	12.2%	11.9%
9学級	0.0%	1.5%	1.2%	1.7%	5.6%
10学級	1.3%	3.4%	2.3%	3.2%	3.7%
11学級以上	0.0%	1.2%	1.2%	0.5%	1.7%
(複数回答、無回答等)	9.9%	11.0%	4.2%	5.9%	0.4%

- 中学校長の約81%、中学校保護者の約62%、中学生の約65%、高校保護者の約76%、高校生の約74%が4～8学級のいずれかを回答。
- 中学校保護者、中学生は3学級を理想的規模とする回答も多い。(それぞれ約17%、約21%)
- 1, 2学級いずれかの回答は少ない。

問7 県立高校の魅力づくりを進めていく上で、どのようなことを重視すればよいと思いますか。(三つ以内で選択)

選択肢	中学校長	中学校保護者	中学生	高校保護者	高校生
先端的な科学技術に触れさせる教育	12.6%	19.3%	—	21.5%	31.5%
より積極的な就業体験等による勤労観や職業観の育成	40.4%	42.8%	—	43.7%	36.3%
難関大学進学に対応した教育	9.9%	14.7%	—	16.6%	21.6%
グローバル社会に対応できるコミュニケーション力や国際感覚の育成	58.3%	51.0%	—	55.6%	34.6%
地域の活動や将来の職業意識の醸成による地域を支える人材の育成	70.2%	32.2%	—	32.7%	20.6%
芸術や文化などを通じた感性や高度な表現力の育成	9.3%	9.9%	—	13.6%	16.0%
情報化社会に対応できる人材の育成	36.4%	40.0%	—	46.6%	27.3%
中学校までの学習内容の確実な定着を図る教育	6.6%	9.6%	—	9.3%	20.5%
特別支援教育の充実	21.9%	6.1%	—	2.8%	1.8%
自分の生活スタイルにあった時間帯で学べるカリキュラムの導入	3.3%	8.7%	—	7.9%	16.9%
スポーツを重視した教育	3.3%	6.6%	—	6.6%	13.2%
寮などによる集団生活を通して、人間関係づくりを重視した教育	2.0%	4.4%	—	2.4%	7.2%
特になし	0.0%	4.8%	—	1.9%	6.3%
その他	11.3%	1.6%	—	1.6%	0.7%

- ・いずれも「グローバル社会に対応できるコミュニケーション力や国際感覚の育成」や「より積極的な就業体験等による勤労観や職業観の育成」、「情報化社会に対応できる人材の育成」の回答が多い。
- ・中学校長は「地域の活動や将来の職業意識の醸成による地域を支える人材の育成」の回答がもっとも多い。(約70%)



問 8 県立高校普通科の学区制について、どのように思いますか。(一つ選択)

選択肢	中学校長	中学校保護者	中学生	高校保護者	高校生
現在の6学区のままがよい	67.5%	26.0%	25.4%	—	—
3学区にするのがよい	4.0%	1.9%	4.1%	—	—
2学区にするのがよい	0.7%	0.2%	1.5%	—	—
学区をなくし、どの地域からでも入学できるようにするのがよい(全県学区)	14.6%	40.8%	26.7%	—	—
分からない	8.6%	28.5%	38.8%	—	—
その他	4.6%	0.5%	0.5%	—	—
(複数回答・無回答)	0.0%	2.1%	3.1%	—	—

- ・中学校長の約68%が「6学区維持」と回答。
- ・中学校保護者の約29%が「分からない」、26%が「6学区維持」、41%が「全県学区」と回答。
- ・中学生の約39%が「分からない」、25%が「6学区維持」、27%が「全県学区」と回答。